

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念である親切・安心・安全・丁寧・謙虚・感謝を日頃から忘れないように周知している。毎朝の朝礼での唱和・及び訓示等で常日頃から意識するように取り組んでいる。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		事業に関する法令順守を把握し周知徹底指導している。また社会生活においての法令順守も常日頃から厳しく指導している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		公正な取引が常時徹底して協力業者様との連携を取り組んでいる。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各現場に安全衛生職を配置し、安全衛生部長職を設けている。各現場の見回りや協力業者様も踏まえ産業廃棄物の適正な分別処分が出来ているかのチェック体制を整えている。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		業務発注者及び受注者との契約で徹底しており、事前調査から施工完了後においてまで契約、法令に基づいて保護している。保護が必要なもの及び損害を与える事案等、取引先も交え都度検討している。								8.2 8.3	9								16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		情報漏洩防止の観点から引き続き個人情報のアクセス権限を代表と特定の管理職2名で管理している。定期的なパスワードの変更と外的要因への対策を徹底している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客及び各ステークホルダーの要望に応えるべく日頃から社員教育している。各ステークホルダーからご意見をいただきやすい雰囲気づくりや顧客からの苦情やお問い合わせ等、電話及びご訪問にて丁寧に対応している。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●									8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5		8					12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、昇給、福利厚生など雇用条件等において差別しない運営を徹底している。口頭やポスター掲示などで全社員に対し意識付け相互間でも抑止出来るようにし、就業規則にも定め厳罰化している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		各現場に必ず安全衛生責任者を配置し、現場でのKY活動を徹底している。又、週一回各現場の責任者同士で現場で起こった事等の情報共有する時間を設けている。		3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		男女間、正規、非正規問わず同一労働、同一賃金、社会保険・厚生年金・雇用保険に加入し、原則に則った公正な待遇を取っている。			5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		出社時間の調整、退社時間の短縮など作業の効率化を考え意見を出し合いつつ進めている。夏季期間中は休憩時間も増やしている。		3	5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		業務に関わる必要な資格取得を希望者に受講させ、その際の諸経費支給し、取得者には別途手当を付けている。			4	5.5		8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年一回の健康診断及び簡易人間ドックを実施している。業務に必要な塵肺検査も併せて実施している。その他、季節病のワクチン接種の際は特別休暇をしている。		3				8											17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		協力雇用主制度に登録しており、出所者支援を行っている。女性の現場作業員、刑務所出所者、高齢者も募集しており適材適所の業務が出来るよう分担業務を取り入れている。			4.4 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		各感染症にかかるリスクを軽減させる為、作業車への乗車人数を極力少人数にし、WEB会議などで行うようにしている。また流行時はワクチン接種を推奨している。		3				8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●					3	4			8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●							3	4		8	9		12								

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ピース

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物マニフェストにより適正に処理している。作業場所でも徹底した分別をし適正処理している。公共工事においては電子マニフェストを使用するよう取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社用車・作業用ダンプ等の走行距離(燃料の使用量)の管理、毎月の電力使用量の把握を行い、月単位・現場単位で算出しエネルギー使用量・温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。						7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		営業車や作業用ダンプ、重機などを順次ハイブリッドやエコカーに入れ替えている。簡易計算シートを使用して毎月のCO ₂ 排出量の算出を行っている。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		再生用紙、ペーパーレス化、裏紙利用を推進・実施している。月一回の近隣道路のごみ拾いを続けている。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		事業及び従業員の業務において発生する弁当類のごみ・飲み物類の廃プラスチックは持ち帰りさせ、分別洗浄しリサイクル工場への持ち込みをしている。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事業内節水(各水道蛇口に節水コマ、ホース等にシャワーヘッド)を付け、定期的な点検を行っている。現場用散水もこまめに節水を取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		事務用品を購入する際、グリーン品やエコマーク認定商品を選択するようにしている。					9.4				12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13	15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		全従業員の出張や会合で移動する際は公共交通機関の使用を推奨しその際の経費を支出している。また、現場が自宅の近くの際は徒歩や自転車での直行直帰を許可している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ピース

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		弊社独自のチェック項目を定め、一定以上の仕上がりになるように安全衛生者の完了後見回りを実施している。また引き渡し時において、発注者様のご意見をリスニングし、現場ごとに管理している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		敷地内は障害者の方など安全に入り出来るよう段差等も解消し、常日頃から整理整頓に取り組んでいる。また、どのような書類でも基本ユニバーサルフォントを使用している。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	解体工事業においてアスベスト問題が挙げられ、従業員へ建築物石綿含有調査者の資格取得させてアスベストに対する知識及び有害性・危険性を認識させ適切な除去及び処分をさせている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域内の商工会及び倫理法人会、ロータリークラブに加入し、地域外のボランティア活動参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		社内にハザードマップを掲示し、従業員にも周知している。事業所には防災備蓄及び防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	一般財団法人くまもとSDGs推進財団への寄付を個人法人共に寄付している。また、SDGs普及に向けて重要性、必要性等を従業員一同認識するように、都度つたえている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の若者の雇用を積極的にしている。また地域に密着した寄付や協賛等の依頼があれば積極的に参加し、雇用に繋げている。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。